

教育委員会事務点検・評価 成果指標(抜粋版)【学校教育分野】

※達成状況が「◎」「×」「－」となっているものだけを抜粋

「◎」: H29年度末現状値がH30年度末目標値(中間目標)以上となっているもの【10指標】

「×」: H29年度末現状値がH27年度末現状値未満となっているもの【27指標】

「－」: H29年度末現状値が未定のもの【6指標】

別紙1-1

【施策1-1】

報告書(案)  
P6-7

No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
1	学校の勉強が好きだと思う児童生徒の割合	小3	86.8% (26年度末)	87.0%	87.0%	88.0%	86.3%	×	千葉県学力状況調査 わずかであるが数値の減少が見られる。勉強が「好き」になるように、学習指導の中で、教師が認めたり、ほめたりする場面を増やすとともに、個に応じた支援を行い、児童生徒が主体的に取り組む授業を目指していく。
		小5	77.3% (26年度末)	77.3%	78.0%	80.0%	76.9%	×	
2	全国学力・学習状況調査における全国平均正答率との比較	小6	+1.8	0	+2.0	+2.5	+1.0	×	全国学力・学習状況調査 数値の減少がみられる。昨年度まで、各学校で調査結果の活用が十分に行われていなかったことが原因と考えられる。各学校で自校の課題を把握し、その改善に向けて「学力向上アクションプラン」を作成し、きめ細かな指導、繰り返し学習により基礎基本の定着を目指していく。
		中3	+1.9	+1.0	+2.0	+2.5	0	×	

【施策1-2】

報告書(案)  
P10-11

No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
3	自分の考えや意見を発表することが得意な児童生徒の割合	小6	49.0%	48.2%	51.0%	53.0%	48.2%	×	全国学力・学習状況調査 前年比で、H28は数値が下回っていたが、H29は同率若しくは微増と回復傾向にある。今後も引き続き、安心できる学級集団づくりやわかる授業づくりに取り組んでいく。特に、児童生徒が自分の意見を発表しやすいように、少人数グループでの話し合い活動を多く取り入れていく。
		中3	52.5%	50.8%	54.0%	55.0%	51.0%	×	
4	中学校卒業段階で実用英語技能検定3級相当以上の生徒の割合	中3	50.0%	46.6%	55.0%	60.0%	47.2%	×	千葉県教育委員会教育指導課調べ 前年比で、H28は数値が下回っていたが、H29は回復傾向にある。今後も、中学校の教員が小学校外国語活動を参観し、小中連携を一層推進するとともに、教員の指導力向上に向けての研修を充実させることで、生徒の英語力向上を図っていく。

【施策2-1】

報告書(案)  
P15-16

No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
5	人の気持ちや意見がわかる人間になりたいと強く思う児童生徒の割合	小6	70.7%	-	75.0%	80.0%	-	-	全国学力・学習状況調査 指標としている項目が、調査項目から除外されたため現状値が把握できない。計画の見直しの上で、成果指標の数値データの収集手段等について検討していく。
		中3	75.7%	-	80.0%	85.0%	-	-	
6	人の役に立つ人間になりたいと強く思う児童生徒の割合	小6	71.1%	70.8%	75.0%	80.0%	67.5%	×	全国学力・学習状況調査 数値が年々減少している。学校での縦割り活動の推進、地域行事への積極的な参加の呼びかけ、まちづくり推進事業のより一層の充実等により、児童生徒に他者から認められる体験を多く持たせていく。
		中3	72.4%	67.1%	75.0%	80.0%	65.4%	×	
7	読書習慣のある児童生徒の割合	中2	46.7% (26年度末)	44.4%	49.0%	52.5%	44.5%	×	千葉県学力状況調査 前年比で、H28は数値が下回っていたが、H29は回復傾向にある。読書環境の整備、読書だよりを活用した意識の啓発、学校図書館指導員対象の研修会を通じた児童生徒の読書意欲を喚起する活動の工夫などにより読書活動の推進を図っていく。

【施策2-2】

報告書(案)  
P19-20

No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
8	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小6	87.3%	85.9%	88.0%	90.0%	85.4%	×	全国学力・学習状況調査 「将来、留学したり国際的な仕事につきたいか」への肯定的な回答は全国より7.6ポイント高いが他の項目については数値が下がっている。キャリア教育の必要性を意識した指導が必要である。教職員の意識向上に向け、キャリア教育主任研修会の充実や、総合的な学習の時間の部会等での具体的な取組例提示を行っていく。
		中3	71.3%	69.3%	75.0%	78.0%	68.9%	×	
9	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している児童生徒の割合	小6	74.8%	75.1%	76.0%	77.0%	74.4%	×	全国学力・学習状況調査 小6はH27より若干数値が減少している。児童同士が認め合える雰囲気づくりを進めるとともに、児童の実態を踏まえて設定した挑戦に対して励まし、認めながら指導していく。中3については、継続して見守っていく。
		中3	70.2%	69.5%	71.0%	73.0%	71.0%	◎	
10	地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることができる児童生徒の割合	小6	46.1%	-	47.0%	48.0%	42.7%	×	全国学力・学習状況調査 関係団体とも連携を図りながら、子どもたちが、地域コミュニティの一員として、運動会や地域の祭りなどのイベントに積極的に参加し、地域住民との交流・対話の場を多く設定することなどにより、学校生活全体を通して、発達段階に応じて自分の役割を考えて行動する意識の醸成に努める。 ※H28年度は、指標としている項目が調査項目から除外されたため現状値が把握できていない。
		中3	32.3%	-	33.0%	35.0%	30.4%	×	

【施策3-1】

報告書(案)  
P24-25

No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
11	朝食を必ず食べる児童生徒の割合	小	90.8%	89.6%	98.0%	100.0%	90.1%	×	千葉県教育委員会保健体育課調べ H27末現状値を下回っているものの、H28末現状値は上回っていることから、今後の推移を見守るとともに、学校の実態に合わせた朝食指導について計画的に取り組む、児童生徒だけでなく、保護者の関心も高め、朝食喫食率を高めていく。

【施策3-2】

報告書(案)  
P28-29

No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
13	全国体力・運動能力・運動習慣等調査において、各学年・男女別・種目で全国平均を上回る割合	小男子	81.2%	70.8%	91.6%	95.8%	75.0%	×	全国体力・運動能力・運動習慣等調査 小学校男女共に「握力」と「ソフトボール投げ」で全国平均を下回ったものの、その他6種目で全国平均を上回った。中学校女子は、8種目すべてで全国平均を上回ることができた。中学校男子は、握力で全国平均を下回ったものの、その他7種目で全国平均を上回ることができた。今後は数値の減少の理由を検討するとともに、体育・保健体育学習や学校行事、運動部活動を含めた教育活動全体を通じて、学校体育の充実を図り、体力の向上を目指す。
		小女子	93.7%	91.7%	97.9%	100.0%	75.0%	×	
		中男子	58.3%	37.5%	66.6%	75.0%	87.5%	◎	
		中女子	58.3%	75.0%	79.1%	87.5%	100.0%	◎	
14	1週間の総運動時間が60分以上の割合	小5男子	94.6%	94.6%	95.6%	96.7%	93.8%	×	全国体力・運動能力・運動習慣等調査 H27末、H28末現状値からの減少が僅かであることから、今後の推移を見守るとともに、教育活動全体を通じて、学校体育の充実を図り、運動が好きな子どもの育成を図る。
		中2男子	91.6%	92.7%	92.0%	92.7%	93.0%	◎	
		中2女子	80.5%	80.6%	81.7%	84.5%	82.5%	◎	

【施策4-1】		No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
報告書(案) P32-33	15	学校での子どもの安全が守られていると 感じている市民の割合	市民1万人のまちづくりアンケート	H27末 (26年度末)	61.7%	-	63.0% (29年度末)	65.0%	-	-	「市民1万人のまちづくりアンケート」の見直しに伴いアンケート未実施のため、H29末現状値が把握できない。 計画の見直しのなかで、成果指標の数値データの収集手段等について検討していく。
				H28末 (26年度末)	26,855人	26,469人	30,000人	30,000人	25,800人	×	児童生徒数の減少や地域の方の高齢化により登録者が減少する学校が増えている。 保護者会等への働きかけを強化するとともに、地域との連携を深め、地域全体で見守る意識を高めていく。

【施策4-2】		No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
報告書(案) P36	17	こどもが、学校でいきいきと学び、心身ともに健やかに成長していると 感じる市民の割合	市民1万人のまちづくりアンケート	H27末 (26年度末)	77.4%	-	78.0% (29年度末)	80.0%	-	-	「市民1万人のまちづくりアンケート」の見直しに伴いアンケート未実施のため、H29末現状値が把握できない。 計画の見直しのなかで、成果指標の数値データの収集手段等について検討していく。

【施策5-1】		No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
報告書(案) P39-40	18	学校の勉強がよくわかる 児童生徒の割合	小3	H27末 (26年度末)	90.6%	90.6%	91.0%	92.0%	90.4%	×	若干の数値の減少が見られるが、「わかる授業」の実現へ向け、これまで以上に授業の工夫・改善を行うとともに指導力の向上を図っていく。特に千葉市学校教育の課題「21世紀を拓く」の活用を推進し、各教科等において課題解決に向けた指導及び実践を行う。
				千葉市学力状況調査							

【施策5-2】		No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
報告書(案) P43	19	様々な取組みが、子どもと向き合う時間の確保に有効であったと感じる 教員の割合	千葉市教育委員会教育職員課調べ	H27末 (26年度末 参考値)	70.8%	74.7%	85.0%	95.0%	68.5%	×	数値の減少の理由は、これまでの取組みが定着したことにより、前年度までと比較して、大きな変化を感じた教員が減少した結果と考えられる。引き続き、学校現場における業務改善のための様々な取組みを推進する。

【施策6-1】		No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
報告書(案) P46-47	20	小・中学校における特別支援学級の個別の教育支援計画作成の割合	千葉市教育委員会教育支援課調べ	H27末 (26年度末)	39.1%	84.4%	85.0%	95.0%	95.3%	◎	昨年度に引き続き、特別支援学級等担当者研修会、特別支援教育コーディネーター研究協議会等呼びかけるとともに、管理職、教務主任、養護教諭にも呼びかけるようにしたため、個別の教育支援計画を策定する学校が増えた。

【施策6-2】		No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	進捗 状況	達成状況の理由と今後の取組み
報告書(案) P51-52	22	学校に行くのは楽しいと思う 児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	小6	86.4%	84.5%	88.0%	90.0%	84.0%	×	数値が年々減少している理由は学習内容の理解との関連が大きいと考えられる。今後、教員の指導力向上やきめ細かな指導の充実を図るとともに、児童生徒の自己有用感が高まるような言葉かけや主体的な学びになるような授業の工夫を図っていく。
				中3	81.5%	79.6%	83.0%	85.0%	78.9%	×	
	23	全児童生徒数に対する不登校児童生徒の割合	千葉市教育委員会教育支援課調べ	小	0.46% (26年度末)	0.49% (27年度末)	0.40%	0.35%	0.52% (28年度末)	×	不登校児童生徒の割合は、年々増加傾向にあることから、未然防止、早期発見、長期的な視野に立ち対応できるよう、専門的な知識や豊かな経験を有する人材の活用を図るとともに、各学校に対しての指導を促進する。
				中	2.38% (26年度末)	2.49% (27年度末)	2.25%	2.20%	2.67% (28年度末)	×	
	24	いじめ解消率	千葉市教育委員会教育支援課調べ	小	82.2% (26年度末)	87.9% (27年度末)	86.0%	90.0%	89.2% (28年度末)	◎	各学校において「学校いじめ防止基本方針」に基づいた早期発見・早期対応の充実が進んでいることや、教職員のいじめ問題に対する意識の向上が図られているため。
				中	80.3% (26年度末)	89.6% (27年度末)	84.0%	87.0%	91.7% (28年度末)	◎	

【施策6-3】		No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
報告書(案) P55-56	25	家で、自分で計画を立てて勉強することを 全くしていない児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	小6	10.3%	10.7%	10.0%	9.0%	10.7%	×	「計画的に勉強しない児童生徒の割合」が、H27と比較すると僅かながら上がっている。各学校における家庭学習の推進のために工夫した事例を紹介していく。
				26	日本語指導が必要な 外国人児童生徒で指導を受けている割合	小	90.5% (26年度末)	90.8%	91.0%	92.0%	91.4%
中	93.4% (26年度末)	93.7%	94.0%			95.0%	98.5%	◎			

【施策7-1】		No.	指標	項目	H27末 (現状値)	H28末 (現状値)	H30末 (中間目標)	H33末 (最終目標)	H29末 (現状値)	達成 状況	達成状況の理由と今後の取組み
報告書(案) P59-60	27	日頃、地域でこどもへの声かけや見守り活動を行っている市民の割合	市民1万人のまちづくりアンケート	H27末 (26年度末)	13.8%	-	19.0% (29年度末)	20.0%	-	-	「市民1万人のまちづくりアンケート」の見直しに伴いアンケート未実施のため、H29末現状値が把握できない。 計画の見直しのなかで、成果指標の数値データの収集手段等について検討していく。
				28	市内の学校は地域に開かれていると感じる市民の割合	市民1万人のまちづくりアンケート	H27末 (26年度末)	40.0%	-	50.0% (29年度末)	60.0%